

## 講演講師プロフィール

### ◎片渕 須直 (かたぶち すなお) : アニメーション映画監督

---



1960年生。アニメーション映画監督。

日大芸術学部映画学科在学中から宮崎駿の脚本家を務め、『名探偵ホームズ』脚本、『魔女の宅急便』演出補などを経て、TVシリーズ『名犬ラッシー』(1996)で監督デビュー。その後、長編『アリーテ姫』(01)を監督。TVシリーズ『BLACK LAGOON』(06)の監督・シリーズ構成・脚本。2009年には昭和30年代の山口県防府市に暮らす少女・新子の物語を描いた『マイマイ新子と千年の魔法』を監督。口コミで評判が広がり、異例のロングラン上映とアンコール上映を達成、全国にも飛び火した。

2013年にはNHK東日本大震災プロジェクト・短編アニメ『花は咲く』で監督を担当。

現在は『花は咲く』でもタッグを組んだ、この史代原作の映画『この世界の片隅に』を鋭意制作中。

### ◎高畑 勲 (たかはた いさお) : アニメーション映画監督

---



アニメーション映画監督。

1935年、三重県伊勢市に生まれ、岡山大で育つ。'59年に東京大学仏文科卒業後、東映動画へ入社。テレビ「狼少年ケン」で初演出。劇場用映画「太陽の王子ホルスの大冒険」('68)で初監督。以後「アルプスの少女ハイジ」('74)、「母をたずねて三千里」('76)、「赤毛のアン」('79)(以上、TV演出)、「ゼロ弾きのゴーシュ」('82)、「じゃりん子チエ」('81)、「火垂るの墓」('88)、「おもひでぽろぽろ」('91)、「平成狸合戦ぽんぽこ」('94)、「ホーホケキョとなりの山田くん」('99)を発表。2013年には待望の最新作「かぐや姫の物語」が公開された。

「風の谷のナウシカ」('84)、「天空の城ラピュタ」('86)のプロデューサー。他に、スタジオジブリの洋画アニメーション提供作品として「キリクと魔女」(ミッシェル・オスロ監督)

の日本語版翻訳・演出('03)、「王と鳥」(ポール・グリモー監督、ジャック・プレヴェール脚本)の日本語字幕翻訳('06)、三鷹の森ジブリ美術館ライブラリー提供作品「アズールとアスマール」(ミッシェル・オスロ監督)の日本語版翻訳・演出('07)も手がける。

著作に「映画を作りながら考えたこと」「十二世紀のアニメーション」(以上徳間書店刊)、「ジャック・プレヴェール ことばたち」(ぴあ刊、訳および解説と注解)、「ジャック・プレヴェール 鳥への挨拶」(ぴあ刊、編・訳)、「一枚の絵から/日本編」「一枚の絵から/海外編」(岩波書店刊)などがある。

## ステージショー歌手プロフィール

### ◎島谷 ひとみ (しまたに ひとみ) : 歌手

---

1980年広島県生まれ。1999年7月のデビュー以降、良質の作品を着実にリリース。ナチュラルな佇まいと、様々なタイプの楽曲を歌いこなす“歌唱力”や透明度の高い“歌声”が支持され、「亜麻色の髪の乙女」「Perseus-ペルセウス-」など数々の大ヒットソングを生み出す。

2002年より大晦日放送の「NHK 紅白歌合戦」に4年連続出場。音楽活動だけにとどまらず、2007年～2011年ミュージカル「赤毛のアン」で5年間主演をつとめ、2011年10月～11月までミュージカル「ROCK OF AGES」に出演、映像作品においては2009年2月映画「パラレル」の主演をつとめる等、演技の評価も高い。

デビュー15周年にあたる2014年においては、6月4日にシングル「やぶれかぶれ」、7月16日にオリジナルアルバム「本日、都内、某所」をリリースし、注目を集めた。現在は、テレビ朝日「モーニングバード!」毎週金曜日、FM yokohama「eyes on me」にレギュラー出演中。



### ◎元 ちとせ (はじめ ちとせ) : 歌手

---

鹿児島県奄美大島出身。2002年に「ワダツミの木」でデビュー。ボーカリストとしてさまざまなステージでその唯一無二の歌声と存在感を示している。現在も生活拠点を奄美大島に置きながら音楽活動を行う、二児の母でもある。2012年にデビュー10周年を迎え、初のベストアルバム「語り継ぐこと」をリリース。2013年は12月25日に宮沢賢治作詞・作曲のカヴァー曲「星めぐりの歌」を配信リリースした。2014年のグラミー賞に歌唱で参加したスライ&ロビーのアルバムがノミネートされるなど、日本を代表する女性シンガーである。終戦70年となる2015年、“忘れない、繰り返さない”というコンセプトのもと、「今こそもう1度、平和を真剣に考える年になって欲しい」、という平和への思いをこめたカヴァー・アルバム「平和元年 (へいわがんねん)」を7月22日にリリース。

